

2011年の被害

サミー系など

パチスロに集中傾向

いよいよ2011年も終わりを迎えようとしておりますが、今年には本当にいろいろなことがあってパチンコ業界にとって大変な年になりました。未曾有の大災害、節電、パチンコパッシング、広告宣伝規制の徹底など、業界を取り巻く環境は近年稀に見る厳しい状況だと思えます。

11年のゴト被害に関しては、パチスロでの被害が多く出たイメージ

ジがあります。新鬼武者などサミー系のフィルム基板、各種不正サブハーネス、不正サブ基板、緑ドンなどユニバーサル系のART誘発ゴトの手の進化やぶら下がり、RPEや山佐でもART誘発ゴト被害の発生、不正メダルセレクタなど、ざっと上げただけでこれだけ多岐に渡る被害が出ました。

左横からセル挿入 ゴッド防護策あるが 部品はこれから

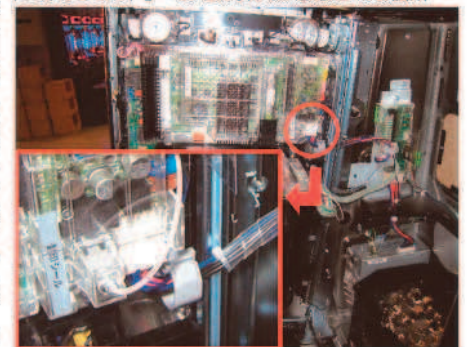
そんな中、10月31日に全国各地

から一斉に被害情報が入ってきたのが、「ミリオンゴッド」神々の系譜」のART誘発ゴトでした。まるでその日がミリオンゴッドのART

誘発ゴトの解禁日だったかのごとく、九州、関西、関東と各地から被害情報が入ってきました。情報によると手口は、自力でゴッドゲーム(ART)を引き当てた後に、数名の仲間が当該台を取り囲み、



「ミリオンゴッド」へのセル挿入が懸念される箇所



「ミリオンゴッド」の被害箇所

ゴトに勝つ

高石隆一

5

10月31日、全国一斉に被害出た 急がれる「ミリオンG」の防御

筐体左横側からセルを挿入していたとのこと。被害に遭った台には、セルを入れる隙間を作るために導入板(ゲタ)が挿し込まれたと思われる傷跡らしき物が筐体左横側に残っており、サブ中継基板下部にある10ピンハーネスのコネクタ部分周辺にもセルによる傷跡が残されていたとのこと。

セルが挿入された筐体左横側を見てみると、今回狙われた10ピンハーネスのコネクタ部周辺だけ透明なセル返しが途切れている状態になっています。まずはこの透明なセル返し部分を延長し、さらにコネクタ部を防護することで今回の手口は通用しなくなることは思います。緑ドンのゴト手口が多様化から考えると、今後も新たな手口を考えてゴトを仕掛けてくるものと予想できますので、年末

年始は特に注意していただきたいと思えます。

※重要：11月15日現在、メーカーから対策部品は出ておりません。店舗独自で防護を行なう際には、必ず事前に各公安委員会から許可を受けた上で、所轄へ変更届を出すことを忘れずに確実に実施してください。許可なしに防護することは、未承認の構造変更として重大な風営法違反になります。

他メーカーでは 右上部から挿入 見逃さぬように

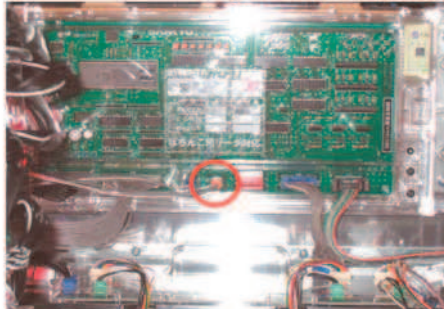
そんなミリオンゴッドの対策もままならない状況の中、今度はSANKYO・ビステイのART機でゴト被害が発生しているとの情

「マクロス-セル」への挿入箇所(セル返しの無い右上部)

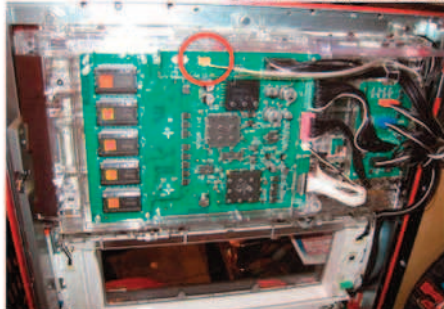


「マクロス」への被害が懸念される箇所

①3Pハーネスコネクタ部



②3Pハーネスコネクタ部



報が飛び込んできました。今回被害に遭ったのは「パチスロ超時空要塞マクロス」でしたが、同社製のART機の「パチスロ創聖のアクエリオン」「サムライ7」「パチスロX」「JAPAN」なども同様に狙われる可能性が高いので警戒の程よろしくお願い致します。

他メーカーのART誘発ゴト同様に狙われたのはメイン基板とサブ基板をつなぐ3ピンハーネス(配線)及びコネクタ部でしたが、セルの挿入箇所が最近のART誘発ゴトではなかったパターン。筐体右上部からというものでした。今までは筐体左付近からセルを挿入するパターンが多かったので、左横でゴゾゴゾしているなどの仕草には十分に警戒していることとは思いますが、今回はそのパターン

ではなく、筐体右上部からのセル挿入でした。ART誘発ゴトは左側からという先入観で見逃してしまっていることあるので注意が必要ですよ。

メダルサンドへの セルゴトが相次ぎ 甚大な被害にも

せっかくART機が成熟してきて、全国のパチスロの設置台数も増加傾向になり、ホールも活気付いてきたところに水を差すかの如く、ART誘発ゴトの被害メーカーが増えており、今後も他メーカーでの被害発生が予想されますので設置中のART機に関しては、ゴト事例が無い機種であっても十分な警戒が必要です。また、その

ART誘発ゴトの増加に呼応するかの如く、メダルサンドのセルゴトの被害報告も相次いで入っております。日本ゲームカード社製のメダルサンドの「BLICZ MC」「EG MC」において、メダル払い出しの

ノズル可動部にある隙間からセルを挿入して、電源部の電子回路を破壊してホッパーを誤作動させてメダルを強制的に払い出させるという手口ですが、この不正払い出しはホッパーのメダルが空になるまで続くので、自動補給の店舗では甚大な被害が発生する可能性が高いのでご注意ください。

このゴト被害に遭った場合、メダルサンド本体上部にあるランプが赤く点滅しエラーを報知するのですが、ゴトグループはそのランプ部に緑色のフィルムを貼ってエラーの報知をカモフラージュしたり、物を置いたり(物を垂らして)ランプ部が周りから見えないようにして犯行を行なっています。

この手口に関しては、メーカーの素早い対応により、対策部品が提供されておりますので、該当機種設置店舗におかれましては早急に日本ゲームカード株式会社へ問い合わせして対策を実施してくだされい。また、マースエンジニアリング社製のメダルサンドでもセルゴトの被害が出ているとの情報が入ってきましたが、詳細については不明です。ただ、E-03、E-07などの要求外払い出しエラー

が発生した場合は、ゴト被害発生
の可能性が高いとのことなので要
注意です。

白髪男リーダーに 手口変え、全国で 荒稼ぎのグループ

そんなサンドゴトを主に行なっ
ているグループの実態について説
明しましょう。リーダー格が中年
の白髪男、実行犯が20代後半くら
いのボサボサ頭の男、壁役・見張
り役・交換役など5人くらいの合
計7人前後のグループで、200
9年頃から活発に全国的に活動し
ているゴトグループがいます。同
年5月にパチスロ(SNKプレイモ
ア)のホッパーセルゴトで全道各地
のパチンコ店を荒らしてまわり、
7月にも同様の手口で北海道に現

メダルサンドを狙いゴト師が集合



メダルサンドへのゴト犯行中



メダルサンドを狙うゴト師をスルーするホールスタッフ



れて、10年3〜4月にはグローリ
ー社製のメダルサンドを狙ってセ
ルゴトを行なって全道各地で荒稼
ぎしていきました。09年から10年
3月までの間には、見張り役など
で若干のメンバー変更がありまし
たが、それ以降はほぼメンバーが
固定されていきました。また、この
ゴトグループは、北は北海道から
南は九州までのエリアを、3か月
くらいでグルグルまわって犯行を
重ねていたようです。

10年7月と10月に北海道に現れ
た際には、いろいろなメーカーの
メダルサンドでゴトを行い甚大な
被害が相次いで発生しました。大
きな被害が出た要因は、以前まで
このゴトグループがセルゴトで活
動していたものが、メダルサンド
の電磁波ゴトに道具が変わったこ
とによるものです。

電磁波ゴトに換え エラーを止める

テクニクも手中に

セルゴトだと、それぞれの機種
毎にゴトの手口が違ってくるので、
まずはゴトが出来るメダルサンド
が設置されたお店を探すことから
始めなければなりません。せっか
く狙っているメダルサンドの設置
店舗で犯行に臨んでも、セルの操作
ミスによってホッパーエラーが発
生して、すぐに逃げなければならな
いと言った状況になるケースもあ
りました。**被害店舗にとっては、
とてもありがたい状況ですが、**

実はメダルサンドの不正払い出
しゴトに対し、メーカーは対策と
して、メダル払い出しのカウント
が上がらずにホッパーが2秒以上
回っているとエラーになるように
プログラムを変更しました。する
とセルゴト犯は、セルゴトを行な
う際には2秒以上ホッパーが空回
りしないように、小賢しいテクニク
を使って犯行に及ぶようになって
たのです。しかし、それでもエラー
が発生するケースがあつて、被害が
出ずに済んだ店舗もありました。

これがセルゴトから電磁波ゴト
に変わることにより、ゴトが出来
るメダルサンドの機種が格段に増
え、エラーの発生も飛躍的に減った
のです。エラーが出る2秒以上ホ
ッパーが空回りしないように、電磁
波の発射も2秒未満にプログラム
されて、普通であれば千円でメダ
ル50枚の貸出しのところ、電磁波
ゴトの被害に遭うとエラーも出ず
に、千円で約千枚近くも不正に払
い出されてしまうのですから、そ
の破壊力たるや恐ろしいものです。

「奴らがやってきた」 警察にも連絡し ホールも緊急態勢に

ほぼ定期的に現れて悪さをする
このゴトグループを、なんとかし
て捕まえることは出来ないものか
とホールと協力して策を練っては
みたものの、電磁波でサンドゴト
をするようになってからは、被害
金額は増えているのに以前よりま
すます犯行時間が短くなり、余計
に捕まえにくい状態になっていま
した。しかし10年10月、札幌市内
のあるCという店舗で、ギリギリ
のところまでゴトグループを追い

詰めることが出来ました。

そのCという店舗は、以前にこのゴトグループにメダルサンドゴトの被害に遭っており、その悔しさをバネにスタッフ全員が復讐に燃えていました。そんな矢先に奴らは、いつも通りバラバラの出入口から時間差で入店して来たのです。入店してきた瞬間にモニターで奴らを確認した役職者は、すぐに警察へ連絡しました。犯行を確認してから警察に連絡したのでは、奴らの犯行時間の短さを考えると間に合わないかと判断したからです。

警察に連絡すると同時に、ゴトに関するインカムを使用しないように口頭で全スタッフに伝え、同時にゴトグループのいる島へは、呼び出しランプで呼ばれるまで近づかないようにすることも伝えました。これはゴト犯がインカムを傍受している可能性を警戒しての行動であり、ゴトグループのいる島へ近づかないのは、警察の到着前に逃げられてしまうことを避けるのと、ゴト犯罪の証拠となる動画を録画するためです。また、うかつにスタッフがゴト犯に近づくと、犯行がバレたと勘違いして暴れ出して、スタッフや周りのお客

様に危害を加えるケースがあり、それを避けるためでもあります。



警察に説明している その間に、実行犯も 見張り役も逃げた

実行犯がメダルサンドに電磁波発信機を当てて、隣に座った壁役がメダルサンドに千円を入れるとメダルが何百枚と払い出されている様子が、監視カメラのモニターにはつきりと映し出されているところに警察が事務所に到着しました。ゴトの手口や事件性を警察に説明している最中に、見張り役のゴト犯に監視カメラが実行犯に向いていることに気づかれてしまい、その後すぐに実行犯と壁役は逃げて行きました。バレたという確信が無くても、危険を察知するとすぐに退散し無理をしないというところが、今まで捕まらずに活動してきた秘訣なのだ、悔しいながらも感心してしまいました。

見張り役のうち2人だけが残って、不正に払い出したメダルを計数機に持ってきましたが、その直前に店舗側は計数機を故障中として稼働を停止させており、時間稼

ぎをするためにホールスタッフにはゴト犯の交換要求を無視する指示が出されていきました。その時間を利用して、事務所では警察へ事情説明を行っていたが、計数機前で待たされていたゴト犯も、さすがに5分も待たされてホールスタッフに無視されていると、異変に気がつきメダルを放置して慌てて逃げて行きました。警察には、ゴトグループ全員が居なくなっただけで事態を理解して頂き、窃盗未遂の被害届けを受理していただく事になりました。この千載一遇のチャンスに捕まえそこなったことは今でも悔しい限りです。



メーカーの初期の 純正シリンダーは 今もゴトのえじき

このゴトグループは、10年12月からまたまた違う手口に移行してメダルサンドゴトを行なうようになりました。その手口とは、メダルサンドのメダル補給口を開けてそこからメダルを抜き取るというとても単純なものでした。メダル補給口のシリンダーは初期のメーカー純正シリンダーを使用してい

る店舗が多く、数種類のメーカーキーがあれば、日本中のパチンコ店で悪さが可能だったのです。この手口によって約8000枚もの被害が出るケースも頻発し、日本全国でその毒牙にかかる店舗が多発しました。

今年4月に四国地方で、このゴトグループが捕まったとの連絡が入り、その後メダル補給口からメダルを抜き取るという手口も聞かなくなりましたが、皆さんのお店は大丈夫でしょうか。10年にメダルサンドの金庫のカギが狙われて、サンドの金庫から現金が盗まれるという手口も全国的に流行りました。これもやはりメーカー純正シリンダーだったために、被害に遭ってしまったものです。

今一度、ありとあらゆるカギが大丈夫かどうか、再チェックをお願い致します。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち
警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパン・セキユリティー・サービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務めるかたわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「一期一会」が座右の銘。